

地域密着型特別養護老人ホーム

愛護苑

広報
第25号

2021.12.20

印刷 あべ印刷株式会社

- 発行 社会福祉法人 愛護会 地域密着型特別養護老人ホーム 愛護苑
- 住所 〒023-0132 岩手県奥州市水沢羽田町字水無沢491-3
- TEL 0197-51-6835 ● FAX 0197-51-6836 ● URL <http://aigokai.jp/>
- 責任者 千葉信男 ● E-mail aigoen@aigokai.jp
- 編集 後藤優太 小田島千春 岩城利行 福士翼 今野暢也 山口翔 阿部美由紀 遠藤華蓮



ハロウィンの仮装で笑顔を見せる利用者さん

オリンピック・パラリンピック大会に思う

部長兼生活相談員 川村 幸子

初冬を迎え、各ユニットの軒下には、余暇活動で取組んだ干し柿が吊るされ、焼石連峰の白い雪とオレンジ色の干し柿が美しく映え、何とも言えない風情を感じる今日この頃です。

さて、新型コロナウイルスが国内で感染拡大してから約二年が経ち、ワクチンの普及とともに、日々の感染者数は軒並み減少してきてはいるものの、未だ終息には至らず、愛護苑においてもコロナ感染防止対策の手を完全に緩めることができない状況が続いています。

そんな暗い話題ばかりが先行した今年一年でしたが、夏に開催された東京オリンピック・パラリンピック大会は久しぶりに私達の生活に明るい話題を提供してくれました。また、大会コンセプトのひとつである「多様性」という言葉を耳にする機会が多くなり、お互いの価値観の違いを知り、認め合うことの大切さを改めて学ぶ機会となりました。同時に多様性という考え方は、介護業界においても共通する理念だと感じました。愛護苑に関わる皆さんそれぞれに人生の物語があり、それぞれに培ってきた人生観は異なります。コロナ過により活動の縮小化や制限が求められる中においても、状況やその人の価値観に臨機応変に対応する柔軟な考え方を身に付けることが大切だとオリンピック・パラリンピック大会開催の機会を通して感じました。

もうすぐ年の瀬。来年こそはコロナが終息し、遠くに暮らす大切な家族や知人と自由に会えることが叶う「再会」の年となりますように、また皆さんが笑顔で日々過ごせる年となりますように心から祈っています。

夏祭り



気合の一投…参ります!



笑顔で楽しめる利用者さん!

当苑では今年度も感染対策徹底の上、夏祭りを開催しました。利用者さん達に楽しんでいただけるようゲームなどの催しを行い、その際の景品も喜んでいただきました。来年度の夏祭りも今年のように楽しんでいただければと思います。

後藤優太



真剣に取り組まれています



夏祭りの行事食



輪投げコーナー



釣りを楽しむ利用者さん

誕生日会



花束と記念撮影



各ユニットで利用者さんの誕生日会を毎月に行っております。誕生日の方には、職員からのお祝いのメッセージを色紙に書いてお渡ししました。これからも利用者さんに喜んで頂けるような誕生日会を行っていきたいと思います。

阿部美由紀



記念撮影で笑顔をみせる利用者さん



職員より色紙をプレゼント



ご家族から花束を頂きました



敬老会



九日十六日、愛護苑で敬老会が開催されました。職員と利用者さん全員がコロナウィルスワクチン接種を終えたということで、職員と利用者さんでお祝いの形式となりました。

今年度は、一名の利用者さんが喜寿（七七歳）を迎えられました。愛護苑から記念品と花束を贈呈され、大変喜ばれておりました。もう一名の利用者さんは百歳を迎えられ、総理大臣と岩手県知事から記念品が贈呈されました。改めておめでとうございます。

職員による余興も皆さんに楽しんで頂けたのではないかと思います。昼食は、御膳が提供され、皆さん美味しく召し上がっておられました。

岩城利行



敬老会が始まります



施設長より挨拶



お祝いの花束贈呈



喜寿を迎えられた利用者さん



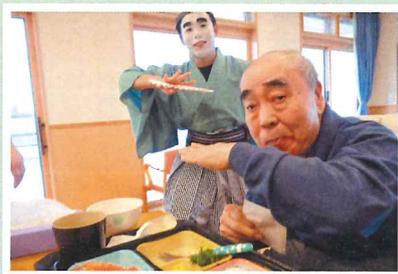
お祝いの品贈呈



100歳を迎えられた利用者さん



笑顔いっぱい、楽しいお食事です！



殿様とお揃いのポーズです



殿様を見て喜ばれる利用者さん

愛護苑の敬老会メニュー

今回は9月に行われた敬老会のお祝い膳の紹介をしたいと思います。お祝い膳もいつもの食事と同様に常食、刻み食、小刻み食、ソフト食、ミキサー食の5種類の食形態で調理しました。お祝いの雰囲気が出るようにとすべての食形態に折詰容器を使用しました。本年度のメニューの紹介です。

- ・栗入りお赤飯
- ・煮豆
- ・ミニ助六寿司
- ・いんげんの胡麻和え
- ・刺身盛り
- ・香の物
- ・季節野菜の天ぷら
- ・そうめんの澄まし汁
- ・ミニステーキ
- ・デザート（ケーキ、季節のフルーツ）
- ・お煮しめ



(ソフト食)



(常食)

ソフト食の方にも同じようなメニューを提供しました。当日は楽しい余興とお祝い膳で楽しい一日を過ごしていただけたと思います。

利用者の皆様からも「豪華だったよ!」「おいしいね。」「ちょっと量が多かったかな」など様々なご意見が寄せられました。

また来年も皆様に喜ばれるようなお祝い膳の計画を立てたいと思います!

栄養士・小野寺 彩

医務から健康トピック

かくれ脱水
脱水のしくみを知って、
発症を防ぐ



かくれ脱水とは?

体液の量が一定以上減ると、体は脱水状態になります。

体の水分は足りていないけれど、脱水症の一手手前で脱水症状の症状は出ていない状態のことをかくれ脱水と呼びます。

具体的には、1%、水分が足りなくなっている状態です。かくれ脱水の段階で、適切に水分を補給すれば脱水症状はおこさずに済みます。

かくれ脱水は気付かないうちにかなりやすい、夜に水分が失われるため寝起きもかくれ脱水になっていることが多い。これは朝ごはんを食べたり、水を飲むことでリセットすることができます。

その場でわかる簡易チェック法
手の甲をつまんで戻るまで三秒以上かかるとかかくれ脱水の可能性があらります。

月刊ホスレ太Dr.ニュースより抜粋

看護職員・千葉律子

新任職員挨拶



介護職員 佐藤 千春

十一月から介護職員として働いております、佐藤千春です。利用者さんの笑顔に助けられ楽しく仕事をさせていただいております。

まだ慣れていないことが多くご迷惑をおかけすることもあると思いますが、よろしくお願ひします。



日直 菅原 信哉

本年八月より日直業務を担当させていただいている菅原です。

まだまだ不慣れなため、皆様にご迷惑をお掛けする日々ですが少しでも皆様のお力になればと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

編集後記

季節もあっという間に過ぎ、気付けば十二月となり今年も残りわずかとなりました。

新型コロナウイルスの脅威も少しずつ収まってきてはいますが、まだまだ油断できない日々が続きます。

感染対策徹底の上、たくさんの方の行事が開催でき、利用者さん達に楽しんでいただけました。これも皆様の支えがあつてこそだと思います。そう思うと、職員、利用者さん達が毎日健康で暮らしている事に感謝しかありません。

今年も残りわずかとなり、これからは冬本番となります。体調が崩れやすくなっていくのですが、そんな時こそ手洗いがい消毒などで体調管理を徹底し、元気に皆さんと一緒に新しい年を迎えていきたいと思います。

(広報委員一同)